

パイプ単品・ ジョイントパーツ 施工・取扱説明書

必ずお読みください

NANKAI 南海プライウッド株式会社
NANKAI PLYWOOD

本社 〒760-0067 香川県高松市松福町1-15-10

首都圏営業グループ	首都圏 第1・2チーム	TEL(087)825-3621	FAX(087)825-3645
東日本営業グループ	北海道・東北営業チーム	TEL(087)825-3632	FAX(087)825-3695
	関東甲信越営業チーム	TEL(087)806-3660	FAX(087)825-3645
	中部営業チーム	TEL(087)825-3622	FAX(087)825-3646
西日本営業グループ	近畿営業チーム	TEL(087)825-3623	FAX(087)825-3647
	中四国営業チーム	TEL(087)825-3624	FAX(087)825-3648
	九州営業チーム	TEL(087)825-3625	FAX(087)825-3649
特需営業グループ	特需 第1・2チーム	TEL(087)825-3662	FAX(087)825-3669

施工される方へ 施工前に製品をよくお確かめください。

品質管理には万全を期していますが、万一品質に不都合な点がございましたら、販売店様または弊社営業まですぐにご連絡ください。施工前の製品に限り、販売店様を通じて良品と交換させていただきます。施工後の交換、補修はいたしかねますので必ず施工前のご確認をお願いします。

ご注意

ご使用になる前に必ずこの「施工・取扱説明書」をご一読いただきますよう、お願いいたします。間違った施工を行いますと製品の品質劣化や人への損傷につながる可能性があります。本書にそわず施工・取扱を行った場合には当社での保証はしかねますのでご注意ください。

躯体準備

- 施工前に躯体の垂直・直角を確認してください。
- 本製品は壁面・床面に対してビスL=50で固定します。
 - ・ 壁面の取り付け位置には12mm厚以上の下地合板による補強が必要です。
 - ・ 床面は12mm厚以上のフローリングなどを用いて施工を行なってください。

施工前の確認事項

寸法単位：mm

- 各ジョイントパーツには以下を同梱しています。すべて揃っているかをご確認ください。

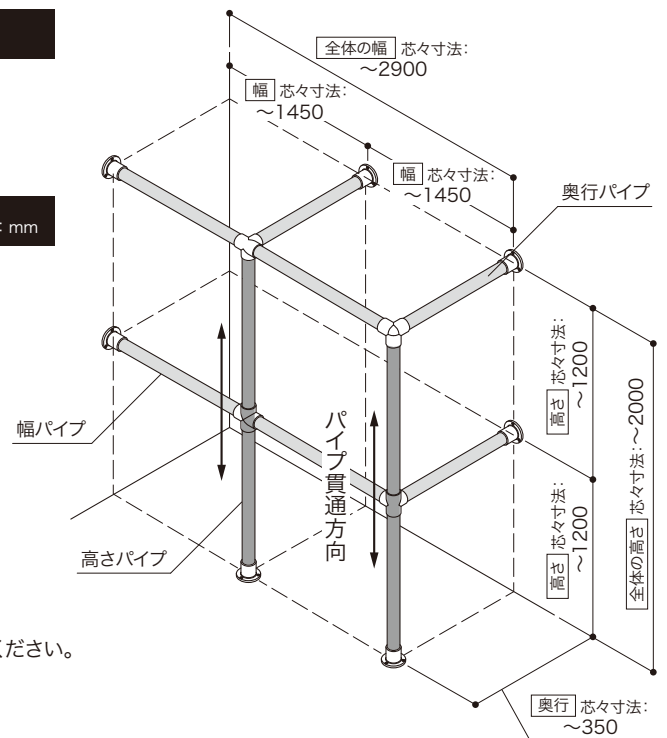
丸型ロングソケット ビスL=50×3本、六角レンチ(2mm)×1本

各ブラケット 六角レンチ(2mm)×1本

- パイプの貫通方向は右図のように縦方向としてください。
- 高さパイプには本数制限があります。両側壁納めで2本、片側オープンで3本、両側オープンで4本までです。
- 幅パイプは上下2段までです。
- 全体の幅 芯々寸法は最大2900mmまでです。
- 幅 芯々寸法の間隔は最大1450mmまでです。
- 全体の高さ 芯々寸法は最大2000mmまでです。
- 高さ 芯々寸法の間隔は最大1200mmまでです。
- 奥行 芯々寸法は最大350mmまでです。
- ジョイントパーツはパイプが奥まで入るようにあらかじめ回転止め用ネジをゆるめてください。

ご注意

施工・取付作業は必ず2人以上で行なってください。



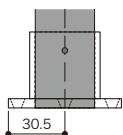
施工手順

寸法単位：mm

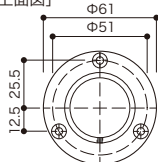
- 1 下図を参照してパイプをカットしてください。

丸型ロングソケット

[正面図]



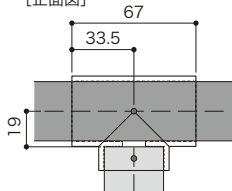
[上面図]



※両側壁納めの場合、幅パイプは5mm程度短くカットしてください。

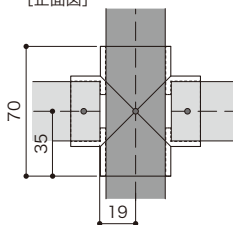
T字ブラケット

[正面図]



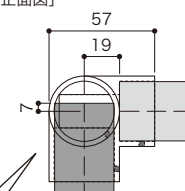
十字ブラケット

[正面図]

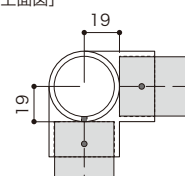


三方L字ブラケット

[正面図]

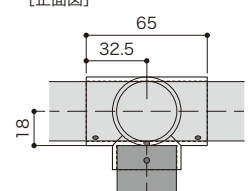


[上面図]

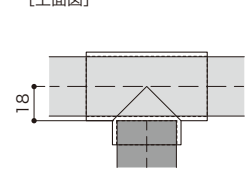


四方L字ブラケット

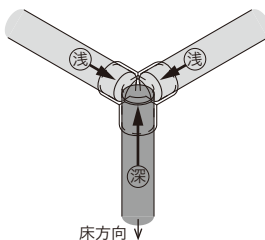
[正面図]



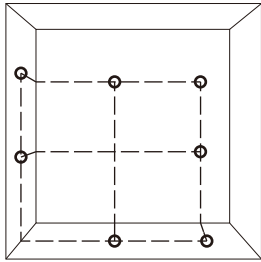
[上面図]



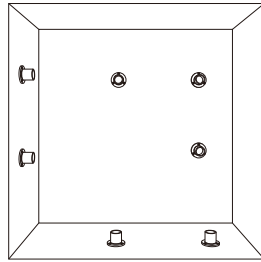
三方L字ブラケットは、高さパイプが深く刺さり込むようにしてください。



- 2 丸型ロングソケットを取り付ける位置に墨出しをします。

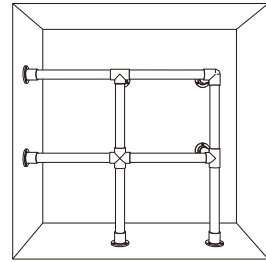


- 3 丸型ロングソケットを、付属のビスで取り付けます。

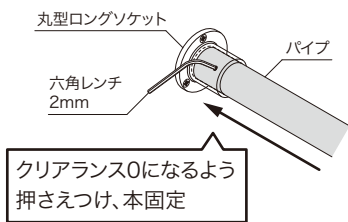


※両側壁納めの場合、丸型ロングソケットを先に壁固定するとパイプが入りません。必要なジョイントパーツをパイプに通した状態で固定してください。

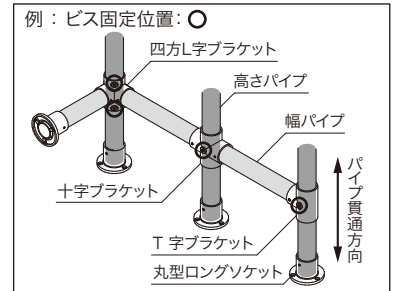
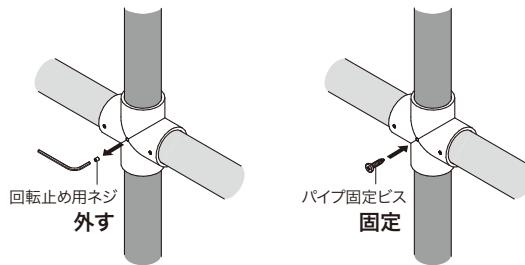
- 4 パイプを差し込み、仮固定します。貫通方向、ジョイントパーツの差し込み方向に注意してください。



- 5 ジョイントパーツ内部に隙間ができないよう確認し、回転止め用ネジを付属の六角レンチで締めて本固定してください。



- 6 パイプ固定ビスが必要な箇所を固定します。(ビス固定位置：下図参照) 詳細は、パイプ固定ビスに同梱の施工説明書をご確認ください。



施工される方・お施主さまへ

警告表示の種類と内容

人身事故や財産の損害を未然に防止するために、製品の取り扱いについて次のような警告表示をしています。内容をご理解の上、正しく安全にお使いください。

誤った取り扱いをした場合に生じる危険とその程度を、説明しています。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いを行なうと使用者などが死亡または重症を負うことが想定される危害の程度を示す。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いを行なうと使用者などが傷害（※1）を負うことが想定されるか、物的損害（※2）の発生が想定される危害・損害の程度を示す。

（※1）傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、ケガ、やけど、感電などをさす。
（※2）物的傷害とは、家屋・家財に関わる拡大損害をさす。

本文中に使われている図記号の意味は、次のとおりです。



「してはいけない」を示します。



「必ず行なっていただくこと」を示します。



警告



- **パイプにぶらさがらない。**

破損・落下・転倒してケガをするおそれがあります。

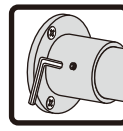


- **パイプの上に乗らない。**

破損・落下・転倒してケガをするおそれがあります。



注意



- **ネジなどが緩んだまま使用しない。**

長期間ご使用している間に、万一ネジなどが緩んでいた場合は、ただちに締めなおしてください。ネジなどが緩んだまま使用しますと、破損や転倒・転落による事故のおそれがあります。

ご自身では対処できない場合は、使用を中止して、施工業者様にご連絡またはご相談してください。



- **故意に揺すったり、強い力を加えない。**

破損につながるおそれがあります。



- **耐荷重の目安値を必ず守る。**

重量物を収納するとパイプが破損・落下し、ケガをするおそれがあります。
（「耐荷重の目安値」をご参照ください。）

耐荷重の目安値

ジョイントパーツ間
(右図 ←→)

35Kg

- 上記の数値は目安であり保証値ではありません。
- 荷重は分散し、集中荷重・衝撃荷重はさけてください。

